

■林市蔵 大阪府知事になるや、方面委員規程を公布、全国統一の制度となり、現在の民生委員制度のもとになった。

はやしいちぞう

大政奉還・・・1867＝ 肥後国飽田郡笛口村で、熊本下級藩士林慎藏の長男に生まれる。母喜壽は医師野田淳朴の娘。

明治維新・・・1868＝ 1歳：

学問のすすめ1872＝ 5歳：父が病死し、家督を相続。以後、母の苦勞によって育てられる。

明治6年政変 1873＝ 6歳：春日学校に入学。

三つの反乱・1876＝ 9歳：

明治14年政変 1881＝14歳：

新体詩抄・・・1882＝15歳：この頃、(春日学校改め)華陵小学校を卒業し、私塾(修身学校)に通う。

岩倉具視没・・・1883＝16歳：熊本中学に入学するが、直後に一般同様煩雑な勉学を嫌って退学し、私塾(済々黌)に通う。

内閣発足・・・1885＝18歳：

国民之友始・・・1887＝20歳：創設されたばかりの第五高等中学校に仮入学。

新校舎完成後は、習学寮に入り、炊事委員となり、撃剣部委員になるなど、周囲からは信頼され、

帝国憲法発布 1889＝22歳：

予科三級から本科に進んで、

郡司千島探検 1893＝26歳：第一部法科を卒業。上京して、帝国大学法科大学に入学、熊本出身者のための(有斐学舎)に入る。

日清戦争始・・・1894＝27歳：本籍を飽田郡横手村から熊本市昇町に移籍。

白馬会・・・1896＝29歳：帝国大学法科大学政治学科を卒業。行政科試験に失敗して_拓殖務省を_選択し、官途をスタート、

八幡製鉄始・・・1897＝30歳：母が死去。_拓殖務省廃止により、内務省官吏となり、

子規句歌革新 1898＝31歳：_行政科試験(文官高等試験)に合格して、

Bushidou・・・1899＝32歳：_警察監獄学校教授となり、内務省参事官を兼任して、小河滋次郎・留岡幸助と面識ができ、同郷の大物清浦圭吾との関係が深まる。

ピアノ国产化・・・1900＝33歳：天皇の侍医相磯榎を仲人に、市川彦三の妹茂と婚姻届出。長男誕生するも翌年夭折。

田中正造直訴 1901＝34歳：(有斐学舎)の舎長を務める。この間、友人の借金の連帯保証人となっていたことから、返済に苦しみ、

教科書疑獄・・・1902＝35歳：長女喜恵が誕生。

日比谷公園・・・1903＝36歳：

日露戦争始・・・1904＝37歳：二男が誕生。_警察監獄学校廃止に伴って、山口県書記官から、

日露戦争終・・・1905＝38歳：_事務官(内務部長)に進んで以降、地方官人事は政党的強い影響を受け始め、

満鉄発足・・・1906＝39歳：三男誕生するも翌年夭折。勲五等双光旭日章。_第一次西園寺内閣で内相に就任した原敬によって、広島県事務官(第一部長兼第三部長)から、

韓国反日暴動 1907＝40歳：_新潟県事務官(内務部長)を経て、

アヲボ創刊・・・1908＝41歳：_三重県知事(地方長官)に出世するも短期に終り、民間の東洋拓殖株式会社理事となり、朝鮮に赴任、

伊藤博文暗殺 1909＝42歳：二女が誕生。功績に勲四等瑞宝章。

韓国併合・・・1910＝43歳：四男が誕生。

_在官のまま就任する異例の扱いを受け、官民協働意識も芽生え、中央報徳会機関誌へも報告執筆。

明治天皇没・・・1912＝45歳：

三女が誕生。この年、小河滋次郎が大阪府救済事業指導嘱託となり、方策を立案して行くが、

大正政変・・・1913＝46歳：さらに勲三等瑞宝章を授賞した後、_廃官となり、

21ヶ条要求・・・1915＝48歳：五男が誕生。_大札記念章。

民本主義・・・1916＝49歳：_議會で事業のあり方が非難されるなか、8年勤めた東洋拓殖株式会社理事を依願退職。

ロシア革命・・・1917＝50歳：内務省に救護課が新設された年、岡山県知事笠井信一が済世顧問制度を創設、民生委員制度の始まりとされる。_山口県知事として官に復帰するが、後藤新平をたたく(大阪朝日)鳥居素川への目付けとして、大阪府知事に転任すると、

第一次大戦終 1918＝51歳：四女が誕生。*_白虹事件*で鳥居素川を失脚させる一方、警察部に救済課を新設し、米騒動を収拾した後、大阪市の先駆的**社会事業**に対応するかのようになり、大阪府方面委員規程を公布、全国普及へ契機となる。

ベルリン条約・・・1919＝52歳：六男が誕生。小河は病氣療養が長引き、

大暴落・・・1920＝53歳：*_依頼免本官となり、官界から去る。直後に、原敬首相から勧誘されて日本信託銀行頭取となり、大阪庶民信用組合理事長を兼任するなど、実業界入りした後も、大阪府方面顧問として方面委員制度に関与。

原敬首相暗殺 1921＝54歳：財団法人大阪府方面委員後援会理事。

関東大震災・・・1923＝56歳：長女喜恵が外務官吏の重光葵と婚姻。

護憲三派圧勝 1924＝57歳：小河は囑託を退任し、翌年には死去することから、林市蔵が大阪府方面委員を確立したと見て良い。

治安維持法・・・1925＝58歳：熊本電気取締役。_日本信託銀行が行き詰まって退任し、大阪堂島米穀取引所理事長に転じる。

円本時代始・・・1926＝59歳：社会事業調査会委員。

金融恐慌・・・1927＝60歳：大阪乳幼児保護協会理事。三越監査役就任。

共産党事件・・・1928＝61歳：大阪電気軌道監査役就任。この頃、兵庫県武庫郡本山村岡本に転居、"百里亭"と名付ける。

世界恐慌・・・1929＝62歳：二女が内務官吏の堀田健男と婚姻。この年の_村島帰之「善き隣人～方面委員の足跡」の出版に鼓舞され、

海軍軍縮条約 1930＝63歳：

満州事変・・・1931＝64歳：_大阪堂島米穀取引所理事長を退任し、大阪庶民信用組合も閉鎖されて理事長を退任し、

五一五事件・・・1932＝65歳：_全日本方面委員連盟が結成され、副会長に就任すると、大阪方面委員常務委員会への侍従差遣の光榮に、

帝人疑獄事件 1934＝67歳：_方面委員の全国的法制化に向けて行動を開始、

芥川直木賞始 1935＝68歳：熊本電気会長。

二二六事件・・・1936＝69歳：*_方面委員令が施行されて全国統一の制度となり、現在の民生委員制度に繋がる。

日中戦争始・・・1937＝70歳：中山製鋼所監査役就任。

総動員+健保 1938＝71歳：中央社会事業委員会委員。この年、社会事業行政が誕生した厚生省に移管される。

第二次大戦始 1939＝72歳：

大政翼賛会・・・1940＝73歳：熊本電気会長退任、翌日付けで九州電気取締役。_戦時下における"集団輔導"を提唱。

日米開戦・・・1941＝74歳：

・・・1942＝75歳：九州電気解散により取締役退任。_全日本方面委員連盟会長を務めてきた清浦圭吾が死去し、

創価学会検挙 1943＝76歳：妻茂が死去。三越監査役退任。_後任の大久保利武も死去したため、会長代行となり、

年金+総武装 1944＝77歳：関西急行鉄道(元・大阪電気軌道)監査役退任。

敗戦・・・1945＝78歳：中山製鋼所監査役退任。女婿重光葵の日光別荘に疎開、自宅は戦災で焼失。西宮市夙川に借家し、再び"百里亭"とする。_敗戦後も直ぐに、全日本方面委員連盟会長(第四代)となって活動を再開、

新憲法公布・・・1946＝79歳：二男が死去。_民生委員制度発足で退任するも、全日本民生委員連盟顧問となり、最後まで関わり続けて、

極東裁判決・・・1948＝81歳：

メー-事件・・・1952＝85歳："百里亭"で_没した。同日付けで勲二等瑞宝章追贈。

小笠原慶彰「林市蔵の研究」、